



犬の生態
シリーズ①

改めてお知らせします!! 「ワンちゃんの生態」から考えるベストな食材!!

ワンフーご愛用の方は充分ご存知かも知れませんが、
ワンちゃんの変わらぬ健康のため再認識していただきたい「ワンちゃんの生態」。

ワンちゃんは人間と違う!! だって消化器官そのものが・・・

ワンちゃんの消化器の働きは、人間よりもずっと速く活発です。でもその分、腸も短いので、食事には体内で早く消化・吸収されるものが体に適しているのです。野生で狩りやすく、日常的に食べることができ、栄養が豊富で、消化・吸収が早いもの・・・そう考えていくと、小動物の「生肉」になります。

腸が短いから、消化・吸収しやすいものが体にイイ。

だから、ワンフーは

ウサギや鶏肉などの生肉を使用しています。

※ドライフードにする際も、生肉の栄養素などを損なわないよう、温度管理を徹底して乾燥処理しています。

もちろん肉だけじゃない!! 消化を助ける食べ物。

もちろん、肉以外にも、野生の頃に消化を助けるものとして食べていたと考えられるものはあります。草、葉、種、果物などです。自分の体調を本能的に理解して、栄養バランスや胃腸の機能を整えるために、食べていたと考えられます。

体調を整えるために食べるもの(草、果物etc・・・)

だから、ワンフーは

ビール酵母や様々な「天然健康食材」を配合しています。

※ワンちゃんのライフステージに応じて、必要となる栄養素を配合しています。

消化の状態は「ウンチ」でチェックしましょう!!

ちゃんと消化ができているかどうか、胃腸の健康状態は「ウンチ」でチェックすると簡単です。特に、ウンチの硬さが見分けやすいようですが、意外とやわらかすぎるウンチでも、「犬のウンチってこんなもの。」と誤って認識されている方も多いようです。改めてチェックしてみましょう!!

- 悪いウンチ やわらかすぎる
ティッシュでつまんだだけで崩れる
- 良いウンチ 適度な硬さ
ティッシュでつまんでも崩れない
- 悪いウンチ 硬すぎる
小さく、つまんで軽く押ししてもつぶれない

ワンフーを食べるとウンチがちがう!	量が違う ^{※1} 消化吸収率が高いので、量が少ないです。	硬さが違う ひきしまった、ティッシュでつまめるぐらいの硬さになります!!	臭いが違う 一般のフードを食べているワンちゃんと比較して臭いが少ないです。	色が違う ^{※2} ワンフーの粒と同じような黄色味があったウンチになります。
--------------------------	--	--	---	---

※右記の例は個体差によって異なります。

※1 ウンチの量が多いのは消化吸収されていないと判断しています。
※2 一般的にペットフードを食べると、ウンチが黒っぽくなります。フードの脂分が多いからと判断しています。弊社製品は脂分が少ないです。

ワンちゃんの「ウンチ」について、 お客様からもこんなお声を頂いています!!

▶ 三千さま (兵庫県)

アポロ(タイプードル)、くつきー(タイプードル)

つかめないくらい柔らかく臭かったのが、ちゃんとつかめて、量も少なくなり、においもすごく減りました!たまにウンチをしたことすら気づかないくらいです。

▶ 平川さま (神奈川県)

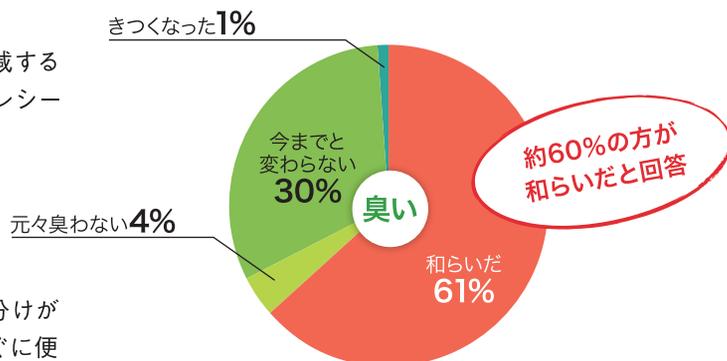
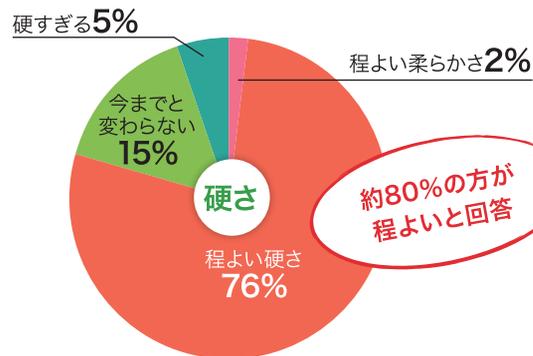
きらら(ポストンテリア)

量・硬さ共に安定しました。軟便になったり、回数が増減することがほとんどありません。朝晩、1日2回、トイレシートに跡が付かないくらいコロッ、とした便が出ます。

▶ 渡邊さま

小町、和、太、敬、絢、怕、英(パグ)

健康な便になりました。ほかの家の犬の便とすぐに見分けがつかず。おやつでワンフー以外のものをあげるとすぐに便の調子が変わります。



医食同源
コラム

ワンちゃんの消化について。

大奥の犬

先日、機中で観た「大奥」。そこには可愛らしい犬達が登場していた。観終わった後、機内食を食べながら、江戸時代のこの犬達は何を食べていたのだろうと考えた。5代将軍の綱吉時代では、元禄の大飢饉にもかかわらず、犬の食費は年間9万8千両だったと伝えられている。まして、大奥の犬達は、蒸しアワビ・鯛・赤貝・焼き豆腐などを食べ放題だっただろう。

犬がオオカミから離れ、ヒトと暮らし始めて久しい。更に、犬が外で飼われていた時代からも遠ざかり、現在では犬達の食事は全てヒトから与えられるものになった。犬の食事は劇的に変化を遂げている。犬の食事はヒトの食生活と深い関係にある。

犬の便は上品なものが良い

「尻拭い」とは「尻をふくこと」の他に「他人の失敗などの後始末をする」ことの行為に使われる。犬達に尻拭いはない。

食べたものは消化吸収され、残りのものは便として排泄される。食べるものが適材で、消化吸収も正常であれば尻拭いの必要がない。

あの白いふさふさした毛でお尻が覆われていた大奥の犬が、汚れて大奥を歩き回り、抱かれていたとは考えにくい。付き人たちがさぞや犬達の健康にも気を使っていたに違いない。

本当に健康であれば、ティッシュましてウォシュレットも必要ないのだから。拭いても取れない尻拭いのためにウォシュレットが必要だとしたら。そんなにヒトの食生活が乱れているのだろうか? そのうち、ヒトの食生活に合わせて犬達の食生活も乱れてしまえば、犬達専用のウォシュレットも必要とされる時代がくるのだろうか?

動物介在教育・療法学会名誉理事長
北里大学獣医学部教授
獣医学博士 樋口誠一



wanfoo® 環境プラント工業株式会社
ワンフー事業部

〒689-3536 鳥取県米子市高島130-1

0120-020-788

TEL:0859-37-0000 FAX:0859-37-1110

ワンフー

検索

<http://www.wanfoo.co.jp>